

こりゃあどういふこと？ ドライブのお供にETC どうですか？

観光バス、高速バス、または、大型トラック、でのETC取り付けは、当たり前ようになってきた昨今、一般車でも、料金所に止まることなくスイスイと走っている車を見る事が多くなりました。さて、あなたは、ETC使ってますか？

まずは、ETCの基礎知識から。

ETC（エレクトロニック・トール・コレクションシステム）とは、**車に付けた車載器と料金所のアンテナが無線で交信し、料金は、口座引き落としされる**（但し、ETC専用クレジットカードが必要です）**システム**のことです。ETCの車載器は、専門店（セットアップ店）で各車ごとにセットアップ（車のナンバーや車種などを車載器に登録する事）が必要ですが、ETCカードは、車載器のある車であればどれでも使えます。専用カードは、ローン会社やJAFなどで、つくることが出来ます。

ETC開発、普及の第一の**目的**は、**料金所での渋滞緩和**。日本道路公団の調査によると、同じ時間内での通過台数は、**有人ゲートの3.5倍**。実際に効果アリの報告もあるようです。

ところで皆さんは、ETCの付いた車に乗ったことがありますか？こんな質問、今さら・・・と思われるかも知れませんが、私は、昨年生まれ（おとど）初めて高速バスで広島へ行った時が、ETC初体験でした。ETCゲートが開いた瞬間大人気なくも感動してしまいました。確かに、渋滞している時には、ETCがあるとスイスイ進めて便利です。ね。

「JAFメイト2005 5月号」「ママさん探検隊」の中で、

（前略）

斉藤 私、ETC付いたら、主人の運転中に助手席で寝られるようになったの。だって、お金の用意しなくていいでしょ。

（中略）

渡辺 一人で運転している時も、お金の出し入れのストレスがないと、運転に専念できるわね。

（中略）

横山 でも、車載器とかにもお金がかかるでしょ？ウチはそんなに高速使った

りしないから、何万もかかるならまだいらなかな。

（中略）

大駒 私は運転があまりうまくないから、料金所で窓を開けていったん止まることで安心感が得られるようなところもあって・・・だから、止まらずにずっと走り続けなきゃいけないものちょっと不安だわ。

斉藤 なるほど、そういう考え方もあるのね。確かに、休憩の取り方も考えたほうがいいかもしれないわね。

という記事がありました。

私は、大駒さんの言葉に思わずうなづきました。私自身、高速を走り慣れていない上、運転が上手ではないので、「料金所でいったん止まれる」のは、確かに安心ですね。でも、渋滞のイライラは嫌だし、助手席でゆっくりできるというのも捨てがたいし・・・。

ETCは、渋滞のイライラや、支払のドキドキを解消してくれる便利なシステムです。また、ETC車のお得な割引や特典もいろいろあるようです。使ってみたくありませんか？

**ドライブのお供に、ETCを・・・。
あなたなら、付ける？付けない？どちらですか。**



わくわく回覧版

先月号で、「譲って下さい、譲ります」の募集をしましたところ、早速Faxをいただきました。そこで、今月から

子犬の飼い主募集

です。

Faxを下さったのは、神石高原町父木野のかたです。

だれか、ぼくたちをかってほしいな。めがあいたらもっとりりしいよ。



対象の子犬は、8月13日に生まれた、オス2匹。生後2週間の頃に写真取材をしましたので、あわせて紹介します。

取材に伺ったのは、8月24日。生後2週間なので、まだ目も開いていません。写真では、白く見えますが、薄く茶が入っています。母親は「コメ」ちゃんという

中型犬。取材に行った時、少しだけ吠えましたが（番犬の役目を果たしてました）とても気立てのいい、人懐っこい犬です。飼い主になって下さる方、または、犬を飼いたい方をご存知の方方を、募集いたします。連絡先は、山本自動車工業（株）とさせていただきます。どうぞよろしくお願いたします。

私がコメです
息子達を
よろしく
お願いします。



今後も、同様の依頼を募集します。同封の「お客様の声」ご応募用紙もご利用下さい。お待ちしております。



実は、子犬の写真を撮りに行った時に、あまりに可愛くて「私が飼いたい」と思っしまいました。しかし、我が家には、やんちゃな雄猫がいる上に、十分に散歩

もしてやれそうにないので諦めました。せつかく飼うのならきちんと最後まで世話をしてあげたいと、可愛そうですものね。

話は変わりますが、以前、我が家の猫が高齢で死んで話を書きました。その頃、私の長男が顔の荒れがひどく、次の猫を飼うことを諦めていました。

しかし、しばらく経って、長男の顔の荒れが治まり、上下の方から「仔猫飼ってくれない？」という話もありました。夫（社長）がその子猫を見て帰り、「どうする？」と家族会議をした所。この春子猫がやって来たのです。来た時は、1キロに満たないチビでしたが、5ヶ月たった今では、4キロ弱とすっかり育ちました。爪は、立てないのですが、やたらとじゃれつく、やんちゃな甘えん坊です。末娘は時々負けています。一方長男は、弟ができたように可愛がっています。また、顔の荒れにも、やたらとつつかないように自己管理をするようになりました。新しい家族が増えるのは、大変な事もありますが、良いもんですね。

読めるかな？

雲母 群青

五月蠅い 微睡む

鋸 答えは、前頁